

2018年6月3日

県内お住まいの避難者の皆様

ご 招 待 状

東日本大震災から7年3ヶ月。私も仙台市にいて、未曾有の体験をしました。
さて、私は「芭蕉には謎がある」ことに気づき、5年前初めて歴史推理小説を出し、ミニ講演をしてきたなかで、さらに核心に迫ったかなと思われることを発見しました。単に歴史探究という以上に、時の権力に独りで立ち向かった生き様は私たちの人生を励ましてくれるように思えるのです。そこで、皆さまにお集まりいただき、拙説をお聞き願えればと存じます。

謹 啓

時代描く文絵師 (ふみえし) 林崎 風太郎

「奥の細道」見聞録 歴史推理小説『無刀の芭蕉』初版2千部完売記念
「奥の細道」芭蕉の夢

『笠に たくして』出版 そのねらいとは

開 催 要 項

演題 「奥の細道」芭蕉の夢 『笠に たくして』出版 そのねらいとは
趣旨 2013年発行『無刀の芭蕉』(初版2千部)完売を記念し、推理の源になった資料集を作り、小説にとどまらない「芭蕉の真髓」に迫る。
日本地図上で主要な神社仏閣を結ぶと「二等辺三角形」が浮かびあがる。そこには古代朝廷の意図があり、察知した俳諧師・芭蕉は、時代をも変えとする大願を、月山に祈願したのが「奥の細道」だった—という風太郎、日本初の芭蕉新(珍)説。
真偽のほどは後世にお任せするとして、この説をPRすることが、本県やまがたへの誘客に結びつき、ひいては日本を元気にしていく秘訣があると主張する風太郎説を、皆で探究する。

主催 「芭蕉の謎 皆で楽しむ仲間の会」/林崎 風太郎(石澤敏弘)

協賛 ホテル キャッスル(会場提供)/「笠に たくして」広告等協賛社

期日 2018年6月26日(火) 午後1時30分開会 (終了3時予定)

会場 ホテルキャッスル 3階 万葉の間 定員 先着100名様

定員になったら締め切らせていただきます。

会費 無 料 出席者に本(A4版・500円)進呈し、テキストとして利用

県内外へのPRお願いしたく、販売コーナーも設けております。

—ご参加お申し込み書—6月19日まで—下記にご記入のうえ FAXください。

FAX023-684-6572 (風太郎自宅 朝8時から夜8時まででお願いします)

ご氏名	〒	ご住所	お電話番号	会社名・団体名